

軍事秘

自昭和十九年六月十九日

至昭和十九年六月三十日

陣中日誌

獨立混成第十五聯隊第三機關銃中隊

茲ニ假編獨立混成第十五聯隊ノ編成ヲ完結シ皇軍ノ
 戦力ニ愈々重キヲ加ヘタルハ本職ノ衷心ヨリ欣快トスル所ナリ
 惟ニ帝國ハ今ヤ有史以來未曾有ノ重大戦局ニ際會シ
 正ニ隆替ノ歧路ニ立ツ決戦場亦皇土ヲ距ル目睫ノ間ニ在リ
 皇軍ノ勇戦奮闘ニ俟ツ今日ヨリ急ナルハタテ獨立混成第
 十五聯隊ノ任務愈々重且大ナルヘシ
 今ヤ諸子ハ聯隊長統率ノ下即時決戦場裡ニ馳ヒ參
 シ馳ノ御積トシテ帝國保全ノ為實勇大佐ニ就ケントス
 洵武人ノ本懷之ニ過タル者ナシ
 聯隊長以下宣々時局ノ眞ニ容易カニザルト其ノ責務ノ
 重キナルトモ銘肝ニ連々ニ鞏固ナル團結ヲ確立シ至嚴ナル
 軍紀ヲ示接々勝算ヲ爲シタル敢行精神ヲ堅持
 シテ一意任務ノ完遂ニ邁進シ斯志ヲ聖旨ニ奉テ奉
 ンコト

訓示

茲ニ假編獨立混成第十五聯隊ノ編成ヲ完結シ皇軍ノ
 戦力ニ愈々重キヲ加ヘタルハ本職ノ衷心ヨリ欣快トスル所ナリ
 惟ニ帝國ハ今ヤ有史以來未曾有ノ重大戦局ニ際會シ
 正ニ隆替ノ歧路ニ立ツ決戦場亦皇土ヲ距ル目睫ノ間ニ在リ
 皇軍ノ勇戦奮闘ニ俟ツ今日ヨリ急ナルハタテ獨立混成第
 十五聯隊ノ任務愈々重且大ナルヘシ
 今ヤ諸子ハ聯隊長統率ノ下即時決戦場裡ニ馳ヒ參
 シ馳ノ御積トシテ帝國保全ノ為實勇大佐ニ就ケントス
 洵武人ノ本懷之ニ過タル者ナシ
 聯隊長以下宣々時局ノ眞ニ容易カニザルト其ノ責務ノ
 重キナルトモ銘肝ニ連々ニ鞏固ナル團結ヲ確立シ至嚴ナル
 軍紀ヲ示接々勝算ヲ爲シタル敢行精神ヲ堅持
 シテ一意任務ノ完遂ニ邁進シ斯志ヲ聖旨ニ奉テ奉
 ンコト

陸軍

ヲ期スヘシ
茲ニ壯途ヲ送ルニ際シ聯隊長以下志氣奮然旺盛ニシテ
武運益々長久ナランコトヲ祈ル
右訓示ス

昭和十九年六月二十三日

東京師團長 田中憲王

（Faint vertical text, likely bleed-through from the reverse side of the page.)

訓示

茲ニ宮第七八三六井上部隊編成ヲ完了シ諸官、
壯容ニ接シ一言スルハ本職ノ實ニ欣快トスル所ナリ
惟ニ東西ノ戦局日ニ苛烈ノ度ヲ加ヘ敵ハ既ニ帝國領土ニ
侵入シ本土ニ空襲スルノ果敢ヲ敢テシ驕傲其ノ極ニ達
ス實ニ攻勢擊滅ノ好期ナリ
此ノ故ニ方々新ニ編成ヲ終ヘ裝備ヲ整ヘ皇國保護ノ大任
ト絶大ナル國民ノ輿望トヲ双肩ニ擔ヒ近ク第一線ニ馳セシト
スル諸官ノ責務カヤ真ニ重大ナリト言ハシ
宜シク負荷ノ重キ莫ク銘肝シ日夜聖諭ヲ奉體實
踐シ至嚴ナル軍紀ノ下團結ヲ鞏固ニシ必勝ノ信念
ヲ堅持シテ敵撃ヲ邁進シ以テ聖慮ヲ安シ奉奉ラン
コトヲ期スヘシ
終ニ臨シ諸官ノ士氣愈々旺盛ニシテ克ク異域

(一) 部隊八明二十一日朝出陣、公發任地ニ向テ前進セシメ
 (二) 各隊八明二十一日〇〇橋本隊發前ニ一機機刺
 銃中隊、噴序ニ集合スヘシ
 (三) 各隊ハ輸送荷物先發者トシテ下ニ兵五ヲ附
 三〇日〇〇〇送ニ橋本隊會前ニ是公ニ與テ并少
 射、指揮下ニ入ラシムヘシ
 (五) 輸送同、給養計畫九、如シ
 朝食 各人攜行
 晝食 長野驛ニ於テ發給
 夕食 甲府驛ニ於テ發給
 兵 器 四本、受領矢器九、如シ
 九三式普通彈藥包 七五六〇發
 拳銃 實包 三〇一發
 被 服 五本、受領被服九、如シ

夏衣袴五〇組、夏褌洋袴下五〇組、化青褌五〇個
 雜襪五〇個、水筒五〇個、路指五〇個、綿上靴五〇組
 綿毛布五〇枚、襪履天幕五〇組、靴下五〇組
 其他個人裝備類、各人分一切
 中隊長以下五三名
 六月二十一日 一〇三〇輸送命令第三號
 水曜日 (一) 部隊八明二十一日〇〇〇之ニ向テ前進セシメ
 命令 (三) 各隊輸送荷物如シ
 第三軍輸送 小倉中隊
 (四) 車内監視大門隊兵一小隊及小倉隊、担任トシ
 二名免動時細細、各隊ニ於テ區界スヘシ
 六月二十日二三三〇輸送命令第一號、第四項ニ基テ
 荷物輸送、タカ丸送、通テ先發セシム
 陸軍部長 大塚本雄

輸

送

三〇五。中隊ハ輸送命令第一號第一項ニ基キ橋本
 隊舎前ニ集合シ二五五五番ヲ出發ス。
 四〇三。五島山縣護國神社參拜後、諏訪川原ニ来
 野ニ經テ二〇二五五五番ヲ到着ス。
 五〇三。五島山縣出發ス。
 直江津(來換)―長野(來換)―塩尻(來換)
 二〇一三 新宿驛ニ到着ス。
 大新宿驛ヨリ東部第六部隊ヨリ、諸連ヲ依リ兵器
 彈藥 梱包、ハ自動貨車ニ依リ輸送ス。
 七、川合少尉、川島重曹、野口一等兵、澤田二等兵
 談話者、ソテ自動貨車ニ依リ善福寺ニ先發ス。
 八、中隊ハ中隊長指揮ニ依リ善福寺(谷布區山元町)
 二到着(三三三三)宿營地善福寺到着(經路地、如次
 新宿―信濃町―谷布善福寺

命

令九

二二三。大隊命令第一號受領

(一)大隊ハ本夜善福寺ニ宿營セシトス
 (二)各隊ハ現地ニ於テ指示セルモトニ基キ夫々宿營スヘシ
 (三)大隊ハ善福寺宿營中、日課時限ヲ九、通り定ム

起床點呼 〇五〇〇
 朝 食 〇六〇〇
 衛兵交代 〇九〇〇
 診 断 〇九〇〇
 中 食 一ニ〇〇
 會 報 一六〇〇
 夕 食 一七〇〇
 日夕點呼 二〇〇〇
 消 燈 二一三〇
 一〇、中隊命令

人員	中隊長以下五三名	日直士官 日直下士官 日直上等兵 中野少尉 大井伍長 高木上等兵 <small>自六月二日(二二〇〇) 頭書 勤務ニ取スヘシ 至六月二日(一一〇〇)</small>
六月三日	一、支領命令要旨九、如シ	
晴	①本隊本夜引續キ善福寺ニ宿營ス ②各隊ハ昨夜指示スル通り宿營スヘシ ③大隊將校ハ東京師團、行ニ將校集合教育ニ集合ス ④中隊命令	
木曜日		
命令		
日課	自六月二日(二二〇〇) 頭書 勤務ニ取スヘシ 至六月三日(一一〇〇) 兵器被服、手入實施 一三〇〇—一五〇〇 基本體操	

衛生	四、一六〇〇ヨリ東部第大隊隊醫務室ニ於テ三樓混合豫防接種ヲ行ヒ一般休養ス 五、麻布區山元町 善福寺	
宿營地	五、麻布區山元町 善福寺 中隊長以下五三名	
人員	中隊長以下五三名 ①大隊輸送命令要旨	
六月三日	①大隊ハ明ニ西日善福寺宿營ヲ撤シ聯隊集結、 ②又列車輸送ニ依リ警志野東敵全三前進セリ ③部隊ハ森林園中射、指揮ニ依リ二四日一二三。現在地 出發信濃野驛發一三五七及一四〇七一列車ニ依リ 目的地ニ到ルベシ ④本隊各中隊ハ九記、如ク人員ヲ差去シ富田主計 中射、指示ヲ受ケヘシ 各中隊 下士官一兵五	
全曜日	④自動貨車ニ依ル荷物運搬、又本隊及各中隊	
命令		

八九記人員ヲニ四日〇〇〇迄ニ本部前ニ差出シ
富田主計中尉ノ指揮ヲ受クヘシ

第三機關銃中隊 兵ニ

ニ中隊命令

日置士官 日置下士官 日置上等兵
中野中尉 梅原伍長 前田軍兵

自六月二三日 至六月四日 一ニ交代頭書 勤放ガニ取スヘシ

日課 三日朝野呼後ヨリリヤ豫防ニ就イテ村井衛生曹長
講話ヲ受ク

四午前中隊各検査準備及基本體操

五二四ニ軍容検査受檢タメ東部第六部隊ノ營

庭ニ集合ス

六一大ニ編成担任官東部第六部隊長ノ軍容検査
查アリテ茲ニ大隊編成完了シ大隊長指揮下ニ入ル

第六大隊長 陸軍大尉 井上清公

七編成終了後東部第六部隊長ノ訓示ヲ續キ東京

師團長ノ訓示、大隊長初訓示アリ

一七三〇。宿營地ニ歸營ス

兵器 八 本日受領兵器九記、如シ

一三式双眼鏡 四

宿營地 九 麻布區山元町 善福寺

人員 中隊長以下五三名

六月二四日 一、一三三。東部第六部隊區山元町善福寺去發習志野

上野 東敵舎ニ向テ前進ス、信濃野驛發 一三五七

輸送 二、四二七。御茶之水驛ニ來換ス

三、窪田野驛下車後行軍ニ依リ習志野東敵舎ニ

一八三。到着

四、敵營トシテ先發セルモ、九記、如シ

日課	三、三〇〇—一七〇。
宿營地	築城演習(個人用掩體壕、一米四方深一米三〇) 二〇三。ヨリ十分間防毒面裝脫演習
勤務	四、習志野東廠舎 五、第三大隊荷物集積用教員トシテ四名派遣ス 前田一尉兵 竹島三尉兵 塚本三尉兵 金澤三尉兵
人員	中隊長以下五三名
六月七日	一、中隊命令
火曜	日直士官 日直下士官 日直上等兵 川倉尉 高伍長 玉川上等兵
命令	自六月二日(一)ニ交代 頭書ノ勤務ニ服スヘシ 至六月八日(一)ニ交代 頭書ノ勤務ニ服スヘシ
日課	二、〇七〇—一〇八三。中隊長精細訓詁「團體」(兵ノ心) 〇七〇〇—一〇八三。川倉少尉學科 野中尉學科 下士官ニシテ

宿營地	三、習志野東廠舎
人員	中隊長以下五三名
六月三日	一、命令
水曜	陸軍中尉 梅木忠次
命令	任第機関銃中隊長 陸軍中尉 小倉 弘 免第機関銃中隊長要員 第一小隊長 陸軍少尉 中野清市 第二小隊長 陸軍少尉 川合次三

第一分隊長 陸軍位長 佐渡正義			
第三分隊長 全 山田三太郎			
第四分隊長 全 山本久次			
第四分隊長 全 吉田次之			
二轉入者凡記、如シ			
中尉 梅木忠次	佐長 山本久次	佐長 飯田正光	佐長 西田敦雄
中尉 吉川榮信	全 吉田次之	全 保田長雄	全 荒木信一
佐長 山田三太郎	佐長 菊山健治	全 廣田久治	全 敷田太郎
全 桐山外次	佐長 大藤源作	全 西村梅藏	佐長 岩村勇
三轉出者凡記、如シ			
中尉 小倉弘	佐長 菊山健一	佐長 澤田誠文	佐長 木野勇吉
中尉 曾政太郎	全 四辻外二	全 山田政雄	全 岩崎俊雄
佐長 金山清信	佐長 野口政男	全 打田清一	全 松永俊弘
佐長 梅原與三	佐長 山本兼治	全 河原與作	全 西田友治

日課	四、自〇七〇〇 中野少尉講學科
	至〇九〇〇 對戰車戰法、肉迫攻撃等ニ就テ、
	自一〇〇〇 戰車總校ヨリ輕戰車、四輛協力ニ就テ、
	至一二〇〇 對戰車肉迫攻撃ニ關スル教育學科
	塙所、廠舎北側臺上
	自一三三〇 午前、塙所ニ於テ肉迫演習實施ス
	至一五〇〇 各種肉迫資料使用法ヲ演練ス
衛生	五、一五〇〇ヨリ三種混合豫防接種實施スル
宿營地	六、習志野、東廠舎
人員	中隊長以下五三名
六月九日	一、美日命第六號
木曜日	(一) 假締獨立混成第一五聯隊ヲ編成セラル(六月三四日付)
命令	(二) 聯隊長要員以下各將校八員日付ヲ以テ夫々聯隊長以下各職ニ命下サル

中隊命令

日直士官 日直下士官 日直兵
川合小尉 枕渡伍長 崎上尉兵

自六月九日 至六月三十日 交代 讀書 勤務 服スヘシ

日課

自一〇三〇 中野小尉 鑑字科

自一〇三〇 中隊長 總務科

至一〇〇〇 部隊長及大隊長 銃卒 方針 銃子

一四〇〇—一八〇〇 機關銃 試驗 射擊 (使用 彈三銃)

命令 四美台 命追加命令 第七號

(一) 明三〇日 師團長 殿下 訓示 傳達 夕方 師團長 殿下
代理 下三 東京 師團 參謀 長 來 隊 ス 日直 司令 八 衛兵 所
前 手 參謀 長 式 場 之 諸 導 ス ハ シ 依 而 本 部 各 隊 ハ
〇七三〇 迄 三 九 隊 形 ニ 集 合 ス ハ シ

舍	敵
---	---

本 部

第六大隊	第五大隊	第四大隊
------	------	------

場 所 東 新 敵 舍 北 側 臺 上 服 裝 八 單 獨 軍 裝
略 獲 用 大 隊 八 銃 隊 橫 隊 中 隊 八 以 列 隊 隊
各 中 隊 八 小 隊 重 火 器 中 隊 八 分 隊 一 教 導 行 〇七三〇
本 部 八 別 三 卷 出 シ 部 隊 副 官 指 示 受 ケ ン
(三) 六 隊 本 部 通 報 要 旨

部 隊 本 部 及 各 隊 出 發 タ ヲ 先 發 者 ト シ テ 各 中 隊
八 兵 五 名 宛 〇七三〇 迄 二 聯 隊 本 部 前 三 卷 出 シ 隊
大 隊 初 手 神 速 射 指 揮 受 ケ ン ハ シ 服 裝 八 個 人 數
備 一 切 携 行 事 尚 晝 食 各 人 携 行 ノ ヲ ト

五、中隊命令

(一) 三大隊本部通報ニ基キ、旭記ノ通り、先發スヘシ。
陸軍上等兵、飯田正光、保里良雄、西村海藏、
陸軍一等兵、高見宗一、飛島正三

(二) 先發者ハ、明三十日〇七〇〇迄ニ部隊本部前ニ集合
シ、第一大隊ヨリ出スル御子神中尉、指揮ヲ受ケヘシ。
(三) 個人裝備一切及晝食携行ス。

宿营地

大野野東廠舎

人員

中隊長以下五三名

六月三日

一中隊命令

日直士官

日直士官

日直上等兵

吉川准尉

山本伍長 高木上等兵

自六月三日
至七月一日 一ニ交代頭晝勤務ニ限スヘシ

命令

二、四〇〇第三次輸送指揮官命令受領ス。

陸軍

(一) 第三次輸送部隊ハ、二日〇四三〇津田沼驛發門前ニ向ヒ前

進セトス

(二) 各隊ハ先任者ノ指揮ヲ以テ、二〇〇廠舎ニ先發シロシ。

津田沼驛ニ集合スヘシ

(三) 兵器其ノ他運搬物ニハ、本口中ニ先取ラスヘシ

若シ都合ニ依リ、明日早朝先取ラスヘシ

(四) 輸送副官、廣瀬少尉

人員卷取掛ニ依リ、三大隊中澤少尉ヲ加フ

(五) 乗車下車ハ、ラッパ一聲ニ依リ、トシ、一般ニ途中下

車ハ嚴禁ス

(六) 途中空襲ヲ受ケタル時、別命ス

(七) 一般ニ解當ヲ携行スル者、二日朝食以後ハ、俾軍場

司令部ノ給與ニ依ルモトス

二日朝食品川 晝食沼津 夕食濱松

	<p>三日朝食岡山 晝食廣島 夕食小郡 各隊給養掛ハ所要ノ要務ヲ以テ十分ニ受領ス 三一五。美作命第三隊 受領ス</p>
	<p>（一）聯隊ハ美作命第一隊ニ其キ七月一日及二日ノ兩日各 〇四三〇津田沼驛 門司ニ向テ前進セシメ （二）第〇次輸送指揮官ハ西村大尉ニ輸送ニ関シテハ西村 大尉區長スヘシ</p>
<p>兵 卷</p>	<p>四、本日受領兵器如シ （一）九式重機関銃一八六〇四、取替トシテ九式重機関銃 一八二八ニテ受領ス （二）夜光羅針ニ （三）手旗ニ</p>
<p>宿营地</p>	<p>五、習志野東廠舎</p>
<p>人員</p>	<p>由隊長以下四人名 事故五名ニ大隊本部通報ニ基テ先發者五名</p>